

一般社団法人室内環境学会 平成 30 年度 第 1 回臨時理事会議事録

日 時：平成 30 年 3 月 1 日（木）10:00～12:00

場 所：(株) アイデック 3 階 会議室

出席者

理事：関根嘉香（理事長）、篠原直秀、水越厚史、鍵 直樹、三宅祐一、Tin Tin Win Shwe、一條佑介

オブザーバー：市場正良

事務局：中島大介（事務局長）、小沼ルミ（会計）、橋本一浩、色摩 操

欠席：山口 一、川崎たまみ、松木秀明

本理事会は総理事数 9 名のうち過半数である 7 名が出席していることから、定款第 34 条により成立した。また同第 33 条により、本理事会の議長は関根理事長が務めた。

議事次第：

1. 事務局の移転

中島事務局長より、(株)アイデック内（東京都墨田区）に設置されている学会事務局を 2019 年 1 月から(株)静環検査センター（東京都文京区）へ移転する見通しであることが説明された。2018 年 12 月の総会にて定款第 2 条に記載される事務所住所の変更を諮ることとなった。また、2018 年 4 月 10 日から色摩事務局員が静環検査センターへ移籍することに伴い、事務局業務をアイデックから静環検査センターへ再委託する案が示された。出席理事の賛成多数をもって事務局業務の再委託が承認された。

2. 各委員会の今年度活動計画

事業委員会：例年通りの活動とし、今年度も年 2 回の講演会を実施する予定（橋本委員が代理で説明）。

学会誌が年 3 回発行になることに伴い、学会誌広告費の価格設定を検討するよう中島事務局長より要請があり、事業委員会で検討することになった。

広報委員会：例年通りの活動を予定。学会 HP、大会 HP、Facebook などの運営を行っていく（水越委員長）

社会連携委員会：今年度から古賀遼会員が新たに社会連携委員会に加わることになった。他学会との共同によるシンポジウム・発表会などを検討してみたい（三宅委員長）

標準法認定管理委員会：例年通り、標準法および商標の審査・認定を行う。また、標準化委員会および商標管理委員会が統合した効果を検証し、当委員会の在り方について引き続き検討していきたい（鍵委員長）

学術委員会：例年通り、分科会活動のサポートを行っていく。また、研究助成として寄付頂いている助成金の使途を変更することを検討している。従来通りの研究助成に加え、寄付金の一部を財源にした学会賞を新設する案が挙げられている（篠原委員長）

また、燃焼器具分科会の活動計画について一條理事より、災害時室内環境分科会の活動計画について中島事務局長より、それぞれ補足説明された。

出版委員会：今年から学会誌が 3 号/年の発刊となる。巻数は西暦ごとに区切り、4 月発刊を 1 号とする（関根理事長が代理で説明）

九州支部：支部長に代わり、市場会員より、資料に基づき活動計画が説明された。

関西支部：支部長に代わり、水越理事より、資料に基づき活動計画が説明された。

東北支部：支部長に代わり、一條理事より、資料に基づき活動計画が説明された。

3. 平成 29 年学術大会報告

市場大会長より平成 29 年学術大会について報告があった。口頭発表 42 題、ポスター発表 68 題が集まり、参加者約 240 名、機器展示 13 社と盛況な大会となった。また、その他の報告や次年度大会への申し送り事項などが以下の通り説明された。

- ・今回、要旨集の印刷発送をやめ、PDF のダウンロード形式としたが、今後はどうするか。
- ・シンポジウムの内容を記録に残すために、演者に記事（簡単な総説のようなもの）を作成いただき学会誌に掲載してはどうか。
- ・機器展示企業のプレゼンテーションをポスター発表の最後に設けることを今回試みた。
- ・ポスターのコアタイムに 250 円相当の昼食を準備したが、集客に有効な方法だったと考える。
- ・大会長奨励賞（ポスター）は審査対象の 30 題から各審査員が優秀と認めたものを 6 題ずつ選び採点・合計することで選考を行った。最終的に大会長の判断で 5 題に授与を行った。
- ・大会長奨励賞（口頭）は、A21「防災カーテンに含まれる化学構造が未知である難燃剤の定性分析」および C08「経気道暴露評価のための PBPK-CFD-CSP 連成解析モデル」の 2 題に決定した。
- ・収支決算は±0 円となった。当初予定していた安価な県施設が改修工事で使用できなかったため、例年のように繰越金を捻出することが難しかった。
- ・参加登録にて、ふりがな・会員種別を登録すべき。
- ・送信したはずの発表 pp が届いていない例が見られた。

4. 室内環境学会講演会の報告

橋本事業委員より、H30 年 1 月 26 日にフーハ大阪で開催された室内環境学会講演会について報告があった。

19 名の参加があったが例年に比べ参加者が少なく、▲8 万円のマイナス収支となり、講演会としては今回初めて赤字となった。次回講演会も開催予定であるが、今回参加者が少なかった要因を踏まえ挽回していきたいとのこと。

5. 学生懇談会の報告

関根理事長より平成 29 年学術大会中に開催された学生懇談会の実施報告書が紹介された。グループディスカッションやランチョン形式による発表会が実施され、大変盛況な懇談会だったとのこと。

6. 学会誌および HP バナー広告費用

水越広報委員長より現在の学会誌および HP バナー広告費について説明があった。広告契約期間（2017 年 6 月～2018 年 5 月）中 3 冊目の学会誌となる 21 巻 1 号（4 月発刊）の広告費は現在の契約に含むこととした。6 月以降の広告費については前述の通り、事業委員会で検討することとした。

7. その他

- ・事務局より平成 29 年 11 月～平成 30 年 2 月の入会希望者 6 名（法人会員 3 社・正会員 2 名・学生会員 1 名）のリストが提出され、全員の入会が承認された。
- ・会員動向として、平成 30 年 2 月 28 日時点で正会員 358 名、法人会員 46 社（団体）、学生会員 47 名、シニア会員 10 名であると報告された。
- ・理事長候補および監事候補選挙の実施にあたり、選挙管理委員長を榎本会員に打診することとなった。

- ・旅費申請書のフォーマットが新たに作成され、中島事務局長から説明があった。
- ・H31年学術大会の候補地として沖縄が挙げられた。また、東北開催、関西開催の可能性を参加理事が検討することになった。

以上

署名欄

関根嘉香

印

山口 一

印

篠原直秀

印

川崎たまみ

印

鍵 直樹

印

水越厚史

印

三宅祐一

印

Tin Tin Win Shwe

印

一條佑介

印